

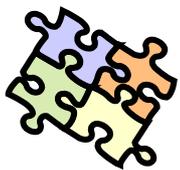
# はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。

2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2009年11月1日発行

10月の「コミュニケーションスキルアップ講座」と夜間映画会には多数のお申し込みをいただき、ありがとうございました。今月は「オトコを磨くパートナーシップ講座」や「超・少子化 危機に立つ日本社会」(講演会で四日市男女共同参画研究所に委託)を行います。また11月13日と14日に男女共同参画フォーラムがフレンテみえで開催されます。男女共同参画を考えるきっかけにされてはいかがでしょうか。



## 男女共同参画プランよっかいち(素案)についてのご意見を募集します!

四日市市では今年度、男女が性別にとらわれることなく、自分の力を発揮して多様な働き方や生き方を選択できる男女共同参画社会を実現するために、市として総合的に取り組むべき施策の方向性とあり方を「男女共同参画プランよっかいち」として策定します。

### 【男女共同参画プランよっかいちを策定する理由は】

四日市市は、女性を取り巻く様々な問題の解決に取り組むため平成5年に女性課を設置し、平成7年に「21世紀に向けての四日市市女性施策プラン」を策定しました。平成8年に本町プラザに女性センター(現男女共同参画センター<はもりあ四日市>)を男女共同参画を推進する市民活動の拠点として開設し、平成14年に「女性と男性のための共同参画プランよっかいち」を策定、男女共同参画社会の実現に向けて努力してきました。そして、平成18年には、家庭や学校、職場、地域などの社会の様々な分野で市民、事業者、市の責任と協働のもとで、男女共同参画を推進していくことを目的に「四日市市男女共同参画推進条例」を制定しました。この条例では、男女共同参画を推進するための施策を総合的かつ計画的に進めていくため、基本計画を策定することとしており、今回の「男女共同参画プランよっかいち」は、条例で位置づけられる初めての計画で、「意識づくり」、「社会環境づくり」、「個人の尊重」の3点を基本目標として掲げ、女性も男性も意欲に応じて個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指します。

### 【このプランについてご意見を募集します】

このプランの策定にあたって、四日市市パブリックコメント手続条例により意見募集を行います。(詳細は広報よっかいち11月上旬号をご覧ください)期間は11月17日から12月16日までで、市内に住んでいるか勤務・通学先があることがパブリックコメントをしていただける条件です。男女共同参画の推進にあたっては、みなさんと市が一緒になって考え行動することが大切ですので、ぜひこのプランの策定に参画してください。ご意見をお待ちしています。

パブリックコメントとは.....行政機関が制度や政策を作る際にその内容を公表して、市民や事業者等のみなさんから意見を募集し反映させる制度で、市民のみなさんに説明をした上で、市政に参画していただくことを目的としています。

「介護の未来を考える」講座第3回目は、バスで愛知県長久手町にある、ユニークな多世代交流自然村、社会福祉法人「愛知たいようの杜<sup>もり</sup>ゴジカラ村」を見学に行きました。



＜説明を聞く参加者＞

あたたかい言葉と開放感・・・が迎えてくれました。ゴジカラ村の古民家の、昨日亡くなったおばあちゃんが安置されている隣の部屋で、施設長さんのお話を聞きました。生涯の安心を手に入れる居場所のあるところです。

ゆったりとした杜の環境に抱かれて・・・杜の中にある特別養護老人ホームには、およそ80の方が入所されています。どこからでも目が届くようゆるやかな円を描く廊下にお部屋があります。また、ケアハウスには自立して生活ができる60歳以上の方が住んでいます。板長さんがいる居酒屋さんのあるケアハウスです。

遊びたい子どもが通ってくる「もりのようちえん」と託児所「コロボックル」・・・約200人の子どもたちが毎日雑木林の中でひたすら遊んでいます。カリキュラムがなくても山の中で走り回る子どもたちのなんと元気なこと！託児所は遊びたいお母さんが、子育てから開放されるためにちょっと子どもを預けるところです。

みんながいきいき暮らせるところ・・・ゴジカラ村には古民家が3軒あります。いろんな人に集ってもらい、いろんな使い方をしてもらおう。私たちもここでお話を聞き、お昼を食べました。“人間はおいしいものを食べて、ゆったり温泉につかって、はだかのつきあいが一番”という吉田一平さんの言葉どおり、すべての施設に温泉がわいています。もちろんもりのようちえんにも！子どもからお年寄りまでみんなが集う杜。案内して下さったボランティアの女性はとてもすてきな笑顔で「とにかくここは気持ちがいい。やっぱり私はここがいい」と・・・

参加者からは、施設長さんのお話しに大感激です。四日市にもこんな施設があったら入りたい！ようちえんは孫を入れたいくらい。地域とつながるこの杜はすばらしい。本当に自分の未来を考えるきっかけとなりました。 など感想をいただきました。

(NPO法人四日市男女共同参画研究所)



＜ケアハウスの入口＞

## 男女共同参画フォーラム～みえの男女<sup>ひと</sup>2009～

### テーマ「一人ひとりの働き方、生き方」

11月13日(金)14日(土)に三重県総合文化センターで開催

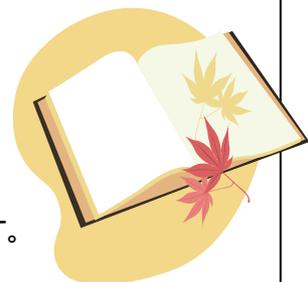
男女共同参画フォーラム～みえの男女～は、男女共同参画社会づくりを目的に、三重県内の人々が一堂に会して、さまざまなテーマを考え合い交流する場です。今年は国連で「女子差別撤廃条約」が採択されてから30年、三重県男女共同参画センター開館から15年、国の「男女共同参画社会基本法」制定から10年という節目の年にあたります。「女子差別撤廃条約」と「男女雇用機会均等法」の制定に大きな役割を果たされた元文部大臣の赤松良子さんの講演会やワーク・ライフ・バランスに関するシンポジウムが開催されます。現在の働き方や生き方を振り返ってみるいい機会になりますので、是非参加してみてください。

### いよいよ「三重の女性史」が発刊されます！

はもりあで3回にわたって掲載した「三重の女性史」がフォーラム当日にいよいよ発刊されます。関連イベントとして、11月13日の午後から女性史作成に中心的役割を果たした「三重の女性史研究会」のメンバーによるワークショップの開催やパネル展示があります。5年の歳月をかけて作られた女性史、三重の女性の歴史を学ぶ機会にしたいものです。

男女共同参画フォーラムは、三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」で開催されます。フレンテみえのHPから申込(14日午後のみ)やフォーラムの内容が検索できます。

HPアドレス <http://www3.center-mie.or.jp/center/frente/>



# 離婚は考えたくないけど・・・

相談室から

Q

毎晩、夫は酒を飲んで「俺を怒らせるな」と怒鳴った後、物にあたったり、なげたりします。「子どもの前では、やめて」と頼んでも「俺に文句つけるとは何様や！」と逆に怒られます。子どもには夫の機嫌が悪い時には、自分の部屋に行くように言いますが、最近は子ども自ら部屋に行くようになりました。夫の親に相談しても「男性を上手に扱うのが、良い嫁。怒らせるあなたにも原因がある」と言われたので、わたしが悪いのかとわけがわからなくなりました。

酒さえやめればいい人。機嫌が良いときもあるから、離婚は考えないで、このまま辛抱するしかないかなとあきらめています。なんとかならないでしょうか。

プライバシー保護のため、いくつかの事例を組み合わせ作成しています

DVは、なぐる、けるだけではありません

A

体への暴力がなくても、暴言を吐かれてあなたの思いが話せない状態が続くと、精神的にとっても疲れます。お酒を問題にしていますが、飲んでいないときは、あなたの意見をきちんと聞ける人でしょうか。酔っても暴言を言わない人もいます。もし、アルコール依存症になるほど飲んでいるなら治療が必要ですが、依存症が治っても暴力がおさまるとは限りません。別の問題です。夫は、あなたをこわがらせてコントロールするための手段として暴力を選んでいきます。あなたは悪くありません。どんな理由があろうと暴力は、決して許されるものではありません。暴力はエスカレートする可能性があります。一人で抱え込まずに、あなたらしく生きるための一歩をいっしょに考えましょう。

まずは、電話相談を！ 354-8335 火～土 9:00～12:00 13:00～16:00

## 今月のおすすめ本

DVについてあまり知らない人も、よく知っている人も、読めばそれぞれに**発見**がある本



### 『なぜ男は暴力を選ぶのか』

ここで問題にしているのは、男性が妻や恋人に対してふるう暴力です。「怒らせるお前が悪い」と言う男性の言葉に「わたしが悪いのかな」と巻きこまれていませんか。そんなとき、この本を読めば、勇気百倍。

暴力をふるう男性へのメッセージも必見。

### 『知っていますか？ドメスティックバイオレンス 一問一答第4版』

この本を読めば、DVの基本的な知識が身につきます。20の問いがあり、知りたい情報にすぐにアクセス可能。サポートするためのノウハウがあり、支援者と当事者に即役立つ本

図書の出借期間は1ヶ月間です。

1人10冊まで借りられます。



今月のキーワード

## デートDV

結婚していない男女間での身体的もしくは精神的、性的な暴力のことで、10代20代の若い世代にも広がっています。経験や知識が少ないため、親密な関係になることで、相手を「自分のもの」として考えてしまいがちです。

殴る蹴る等の暴力だけでなく、ひどいやきもちを焼き、他の友達とのつきあいを嫌がったり、監視したり、メールや服装などを細かくチェックする、アドレスを勝手に消すなど、言葉や態度で精神的に追いつめることも暴力になります。また、男性から女性に振るわれると決まっている訳ではなく、その反対もあります。

愛しているから自分の思い通りに動かそうとし、愛されているから相手の期待に応えなければならぬと考え、本人たちも周りの人もDVであることになかなか気付けません。また、親に相談することも少なく、一人で悩んでしまいます。自分の気持ちや考えを言えなくなり、暴力を振るわれてもしょうがないと自尊心が低くなります。傷害事件やストーカー行為などに発展する可能性も指摘されており、周囲の見守りが不可欠です。

## 登録グループイベント情報

### 11月 5日(木) スロー体操

発見！自分にあったスロートレーニング。どなたでも参加していただけます。

時 10:00～12:00 費 無料 所 はもりあ四日市 会議室  
問 まんなか 金森 (059-353-5893)

### 11月 4日(水) 高齢者のための“あさひっこ学校”...体育「貯筋体操」

いすに座りながらゴムを使っておもしろ体操

### 11月 18日(水) 高齢者のための“あさひっこ学校”...理科「アロマで石けん作り」

玄関や靴箱にいい香り～

### 11月 25日(水) 高齢者のための“あさひっこ学校”...図工「スクラップブック作り」

思い出の写真をオリジナルの本にしてみましょう！思い出の写真を数枚持参してください。

時 9:30～11:30 費 500円 所 総合会館3階会議室 定 20名(先着順)

問・申 健康サポートあさひっこ 草川 (090-8863-6286) それぞれ前日までにお申し込みください。

### 11月 21日(土) 家事家計講習会 2009～時間とお金を大切に暮らし～

お金も時間も限られたものです。上手に使って余裕を見出せたらどんなに良いでしょう。「足りない」と思っている人は家計簿をつけましょう。きっと「これだけ使える」と実感できます。

時 14:00～16:00 所 四日市市文化会館 第4ホール 費 350円 他 託児あり 300円 要予約

問・申 四日市友の会 (059-326-2081)

### 11月 28日(土) こどもまつり

こまのおっちゃんの「こまのサーカス」と体験・あそびコーナー(有料のものもあり)

時 13:30～16:30 費 前売 500円(会員 300円) 当日 700円(会員 500円)

所 中部西小学校体育館 問 四日市まんなか子ども劇場 (TEL&FAX059-351-6670)

## 登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介していきます。

# 市民社会研究所

今回は、NPO法人 市民社会研究所さんです。

代表者 松井 真理子 会員数 150名

連絡先 059-363-3539

今の世の中、どこがおかしい？

そんな素朴な疑問からスタートし、より良い社会のために行動する市民と共に育ち、市民社会の基盤強化を目指しています。具体的には、NPOを中心とした「第三のセクター」の市民公益活動の発展です。四日市市内で活動する市民活動団体の交流拠点「四日市市なやプラザ」の指定管理者としてNPO活動の支援をしています。



### 四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>